

令和6年度宮城大学アカデミック・インターンシップ実施要領

1 目的

- (1) 高校生に「宮城大学での学び」に触れてもらい、「深い学び」について考えてもらう機会や自己の進路に対する目的意識を高めてもらう機会を提供するもの。
- (2) 宮城大学での授業を通じ、宮城大学で学ぶことの魅力や学問の深さ・探究心を養ってもらう契機とするもの。

2 日程

令和6年8月8日（木）の1日間

3 会場

受講する学群	受講する場所
看護学群 事業構想学群	宮城大学大和キャンパス（宮城県黒川郡大和町学苑1-1）
食産業学群	宮城大学太白キャンパス（宮城県仙台市太白区旗立二丁目2番1号）

4 募集対象

進路を定める準備段階にある高校2年生とし、かつプログラム参加に意欲ある生徒で、最大180名程度を想定しています。※高校1年生及び3年生は申込できません。

5 開講科目について

(1) 基盤教育科目

①大和キャンパス（看護学群及び事業構想学群：全受講生必修）

『若者語』の使用について考える」

講師 菅原 謙先生（基盤教育群担当）

日時 令和6年8月8日（木） 9:45～10:45

場所 大和キャンパス 大講義室

【概要】

「若者語」は社会的に批判の対象とされがちですが、その働き（機能）を考えると、それなりに誰かの役に立っていることがわかります。「若者語」の使用の是非を考えることを通じて、社会学の古典的問題のひとつである“the problem of structure and agency”に思いを馳せてみましょう。

②太白キャンパス（食産業学群：全受講生必修）

「英語で色々話してみよう！」

講 師 小島 さつき先生（基盤教育群担当）

日 時 令和6年8月8日（木） 9：45～10：45

場 所 太白キャンパス 大講義室

【概要】

高校までの英語学習と言えば、入試や試験のための暗記、文法学習、日本語への翻訳などが中心で、自分の考えや話したいことを英語で伝える機会は、あまりなかったことでしょう。英語が苦手でも、英語で自分の考えを話してみたいと多くの人が思っているかと思います。

本講座では、アカデミック・インターンシップに参加した生徒同士がお互いのことを知るためのアイスブレイクとして、英語を使って思考するアクティビティを行います。英語を上手に話すことではなく、何が言いたいのかに焦点を当て、簡単な英語で自身のことを表現してみるにより、楽しみながら英語での会話をしてみましょう。

（2）各学類専門科目

以下の5つのコースから1つを選択し、受講します。

【看護学群】（1講座）

①看護学群コース

「医療的ケア児と家族にとっての『家族らしい暮らし』について考える」

講 師 三上 千佳子先生（看護学類担当）

日 時 令和6年8月8日（木） 11：00～15：45

場 所 大和キャンパス 302講義室 及び スキルス・ラボ

定 員 原則35名程度

【概要】

医療的ケア児とは、日常生活を送る上で医療機器や医療的なケアを必要とする子どものことです。人工呼吸器を装着し、痰の吸引が欠かせないこどもや、胃や腸などから経管栄養を受ける子どもは、どのように遊び、学び、成長・発達しているのでしょうか。また、家族はどのような暮らしを送っているのでしょうか。

本講座では、医療的ケア児と家族の暮らしを支える看護の実際について紹介します。そして、医療的ケアの体験やグループワークを通して、医療的ケア児と家族にとっての「家族らしい暮らし」を可能にする看護について考えます。

【事業構想学群】（3講座）

※事業構想学群の3講座のいずれかを選択した方は初めに【事業構想学群全受講生共通必修科目】を必ず受講し、その後に各学類の講座を受講します。【事業構想学群全受講生共通必修科目】や各学類の講座のみを受講することはできません。

【事業構想学群全受講生共通必修科目】

「事業構想学を学び、未来を創造しよう、可能性を創造しよう」

講 師 澁田 一夫先生（事業プランニング学類担当）

宮崎 義久先生（地域創生学類担当）

太田 賢 先生（価値創造デザイン学類担当）

日 時 令和6年8月8日（木） 11:00～12:00

場 所 大和キャンパス 大講義室

【概要】

最新テクノロジーを活用してどんな事業構想ができるようになるのか。企業・経営、地域創生、情報・環境のデザインにどのように役立てることができるのか。事業構想学群の3つの学類に所属する各教員がディスカッションを行い、各学類の特徴や未来志向の学びについて意見交換するほか、参加者からの質問も募集し、双方向での講義を体験します。

②事業構想学群事業プランニング学類コース

「生成系 AI を活用した、事業プランニングの方法」

講 師 澁田 一夫先生・安藤 裕先生（事業プランニング学類担当）

日 時 令和6年8月8日（木） 13:00～15:45

場 所 大和キャンパス 451講義室

定 員 原則35名程度

【概要】

生成系 AI の最新動向を知るとともに、Chat GPT を使ったマーケティングリサーチやデータ分析の方法、画像系 AI を使ってどんなことができるのかを学習します。さらにこれらの体験を踏まえて、事業プランニングのワーク（アイデアの発散、エビデンス情報の入手、要約等）を行います。

③事業構想学群地域創生学類コース

「地域 DX を活用した将来のまちづくり」

講 師 宮崎 義久先生・石内 鉄平先生（地域創生学類担当）

日 時 令和6年8月8日（木） 13:00～15:45

場 所 大和キャンパス グループ演習室

定 員 原則35名程度

【概要】

地域に存在する地域資源の現状や価値を把握して、地域課題を見出し、最新テクノロジーを用いた課題抽出の方法を学び、実際に体験することで、課題解決や将来の「まち」のあり方について考察します。

参加者の皆さんにはドローン操縦のためのプログラミング体験を通じて、地域課題の解決策について検討してもらいます。

④事業構想学群価値創造デザイン学類コース

「データを活用する情報サービスのデザイン」

講 師 太田 賢先生（価値創造デザイン学類担当）

日 時 令和6年8月8日（木） 13：00～15：45

場 所 大和キャンパス 416講義室

定 員 原則35名程度

【概要】

あなたのお気に入りのスマホアプリの魅力は何ですか？それはどのようにあなたの生活を変え、どんな新しい価値をもたらしていますか。未来を切り拓くためには、私たちの周りの出来事を情報やデータとして捉え、情報技術を活用して問題を見つけ出し、解決策を導き出すことが大事です。日頃のユーザーとしての視点から一歩進んで、情報サービス提供者の視点で、地域の問題や身近な課題を解決する情報サービスを一緒に考えてみましょう。

【食産業学群】（1講座）

⑤食産業学群コース

「私の推しトマト、君ならどう売る？」

講 師 菊地 郁先生（生物生産学類担当）

滝口 沙也加先生（フードマネジメント学類担当）

日 時 令和6年8月8日（木） 11：00～15：45

場 所 太白キャンパス 大講義室ほか

定 員 原則40名程度

【概要】

食産業は生産・加工・流通・販売・消費・調理などの複数の分野で成り立っています。また、最近ではフードテックと呼ばれる新しい食の技術が各分野でイノベーションを引き起こしています。

本講座では、高糖度トマトを対象として、栽培方法という視点での「生産技術」と販売・コミュニケーションという視点での「マーケティング」の両面から、食の未来について学び・考えていきます。

6 申込方法等

- (1) 受講申込は、高等学校で取りまとめた上で行ってください（個人申込は受け付けておりません）。
また、1 高等学校当たりの申込人数の上限は、以下のとおりです。申込人数の上限を超えての申込はできませんのでご了承ください。

No.	コース名	申込人数上限
1	看護学群コース	5名
2	事業構想学群事業プランニング学類コース	5名
3	事業構想学群地域創生学類コース	5名
4	事業構想学群価値創造デザイン学類コース	5名
5	食産業学群コース	10名
	計	30名

- (2) 受講理由等を記載したエントリーシートを Word ファイルにて作成し(手書き不可)、申込書(Word ファイル)、参加者名簿(Excel ファイル)と合わせて、下記申込期間内に電子メールにて件名を【アカデミック・インターンシップ申込(高校名)】とし、宮城大学高大連携推進室事務局【kouhou@myu.ac.jp】まで送付してください。

申込期間：6月3日(月) 10:00 ~ 6月20日(木) 17:00

※期日前のお申込みにつきましては、お受けできませんので予めご了承ください。

なお、郵送での送付は受け付けておりませんのでご留意願います。

- (3) 参加者名簿及びエントリーシートに記載する希望講座は第二希望まで指定できます。第一希望と第二希望は異なる学群でも構いません。第二希望まで指定する場合は、第一希望と第二希望の計2枚分のエントリーシートを作成してください。
なお、1 高等学校当たり設けている申込人数の上限については、第一希望のコースでカウントしますので、申込書に記載する希望講座の希望人数は第一希望のコースにて記載してください。第一希望のみの申込でも構いません。
- (4) 定員を超えて応募があった場合には、先着順とさせていただきます。その結果、第二希望のコースの受講となる場合や、受講不可となる場合もありますので予めご了承ください。
- (5) 受講の可否は、7月1日(月)までに各高等学校への受講決定通知により行います。
- (6) 受講を修了した方には、宮城大学から修了証書を交付します。
- (7) 講座に関する受講料は無料ですが、受講に係る交通費等は受講生の負担となります。
- (8) 講座の実施に当たり、宮城大学はレクリエーション損害保険に加入しております。
- (9) 申込書に記載いただいた学校担当者様は、受講決定に係る連絡窓口やレポートの送受をご担当願います。なお、当日8月8日(木)の会場への引率は不要です。

7 今後のスケジュール（予定）

5月20日（月）

実施要領等を本学ホームページ等で公開します。

6月 3日（月） 10：00 ～ 6月20日（木） 17：00 【申込期間】

申込方法等は、6 申込方法等を参照願います。

7月 1日（月）まで【受講決定通知】

講座によっては事前課題に対応していただく場合があります。

8月 8日（木）【開催日当日】

受講生には、各会場へそれぞれお越しいただきます。

9月 6日（金）【レポート提出期限】

コースによっては、レポートが宿題として課されます。レポートの提出は、各高等学校で取りまとめの上、電子メール又は郵送により行っていただきます。

10月中旬

レポートがあるコースは、提出されたレポートに担当教員がコメントを付して各高等学校へ電子メール又は郵送にて返却します。

8 当日のスケジュール（予定）

別紙をご参照ください。